

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 循環型水素エネルギーシステム研究事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 商工・エネルギー政策課 エネルギー係 電話番号：058-272-1111(内3622)

E-mail：c11351@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,000 千円 (前年度予算額： 3,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
要求額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

水素は利用時にCO₂を排出しないエネルギーであり、県、八百津町、岐阜大学、関係事業者3社による産学官連携協定を平成28年7月に締結し、「中山間地における水素社会モデル」を八百津町で実現するプロジェクトを推進している。

本プロジェクトでは、水素エネルギーを活用する「地産地消型エネルギーシステム」を構築・実証するとともに、新たな地域産業・雇用の創出等を目指すなか、水素ステーションなど水素を「つかう」部分は、八百津町をはじめ県内でも構築されているが、水素を「つくる」部分に関しては、製造設備が高額であるうえ水素需要が拡大しないこと等から進んでいない。

そこで、八百津町において、採算性や継続性も考慮しながら、廃棄物の燃焼熱や再エネなどを活用したクリーンな水素を「つくる」部分を組み込んだ事業化に向けて、研究(検討・実証)する取組を支援する。

(2) 事業内容

○システム検討ワークショップの開催【1,000千円】

- ・ビジネスモデル、事業スキーム、採算性の研究
- ・製造方法の検討
- ・財源の検討
- ・その他問題点の洗い出し

○水素利活用の可能性調査等に係る業務委託【2,000千円】

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県エネルギービジョンの重点プロジェクト「脱炭素社会促進プロジェクト」に位置付けている、水素社会実現に向けた取組み及び「エネルギー地産地消プロジェクト」を推進するものであり、協定に基づく県の役割を担うため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	390	専門家謝金
旅費	316	専門家旅費、職員旅費
需用費	234	消耗品費、印刷製本費
役務費	10	
委託料	2,000	業務委託料
使用量及び賃借料	50	会場使用料
合計	3,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県エネルギービジョン

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県エネルギービジョンの3つの重点プロジェクトのひとつである「エネルギーの地産地消」を同ビジョンの5つの方向性のひとつである「水素社会モデル事業の構築支援」により実現する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①自立・分散型エネルギーシステムの構築数（累計）	1件	2件	4件	5件	6件	33.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	2050年カーボンニュートラルに向けて、水素社会の実現については国策で取組まれおり、令和5年6月には水素基本戦略の改定が行われた。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	事業の実施に当たっては、WGのメンバー等と意見交換、情報交換等を行いながら、適切な事業の執行について検討を行っている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 水素の製造コストが高いため、水素自体が高価であり、県民生活や経済活動に浸透する間に時間を要する。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和6年度の状況踏まえながら、事業の継続を検討していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】